



## 年の瀬

12月 は2学期の終わりでもあり、その年の終わりでもあります。冬休みに入るため、他の月より日数は短いのですが、その中でも子どもたちは様々なことに取り組みました。



12日と13日に行われた校内音楽会。「合」という言葉が音楽でも用いられますが、これには「一つになる」「調和する」という意味があります。校名にも校訓にもこの言葉が使われていますが、合唱も合奏もみんなと心を合わせようという思いを感じられたひと時となりました。

20日に行われた音楽鑑賞会は、プロのオーケストラをお招きしてクラシックを楽しみました。リーダーの方のMCも素晴らしく、子どもたちの学年にあ

った演奏を披露していただきました。オーケストラを前にして、指揮の体験をさせてもらった人もいました。感想を聞かれて、「腕が疲れました。」と答えていました。とても素直な感想で、心が温かくなりました。それにしても、やはりプロの演奏はすごいと思いました。ざわざわしていた子どもたちが、演奏が始まるとすぐに静かになって聞き入ります。本物に触れる良さは、こういうことだと改めて感じたところでした。



## ええところ

12月1日に行われたカセフェスタで、謎解きのイベントがありました。その際に力合西の魅力を答える問題があったのですが、少し紹介します。

- ・地域の人がみんなの安全を守る
- ・地域の人がみんな笑顔で挨拶してくれるところ
- ・優しい人がたくさんいる
- ・みんなのお父さんお母さんががんばってくれるところ

ほかにもたくさんありました。2学期の終業式で、子どもたちに「ええところ」という本を紹介しました。自分には一つもいいところがないと思っている女の子が、友達から「あなたの手はあったかいよ」というええところを見つけてもらいます。そして、自分のことを優しいと言ってくれた友達こそが本当に優しいと気づきます。確かに周りの人の優しさをいいところだと感じ取れる人は、同じ優しさを持っています。家族のがんばりを見つけていいところだと感じる人は、自分も頑張れる人です。周りの人のいいところを見つけるには、自分も同じ感性を持っていなくては見つけることができません。でも、逆に言うと他者のいいところを見つけることを続けたら、自分もそのいいところを自分のものにできるということです。いいところをたくさん見つけて楽しい冬休みを過ごしてほしいと思います。よいお年をお迎えください。

